



平戸梨丘

発行：横浜市立平戸中学校 校長 阿部 亮一
横浜市戸塚区平戸町993-4 TEL045-823-8272

LINEトラブルについて

ふくこうちょう みやうち こういち
副校長 宮内 浩一

街中ではイルミネーションによるライトアップが目立つようになりました。クリスマスが近いことを感じさせます。3年生は定期テストが終わり、いよいよ進路に向けての準備に入り、さらに忙しくなります。時の流れの速さを改めて感じています。

さて、今回はLINEトラブルについて考えてみたいと思います。スマートフォンが個人に普及し、とても便利な世の中になりました。中学生のスマートフォン所有率は、2022年末時点で中学生全体(1~3年生)の約86%であり、中学生のスマホ所有率は増加傾向です。しかし、便利な反面使い方を間違えるとトラブルに発展するケースも少なくありません。ここでは最近多発している LINE トラブルの事例についていくつか紹介したいと思います。

1 既読・未読機能による仲間外し 届いたメッセージをよむと「既読」が表示され、すぐに返信しないと送信者側のイライラがつり、友達関係が悪くなったり、グループから外される。

2 表現の誤解 文字だけで伝えるため、その時の感情が伝わらず、相手に誤解されやすい。例えば、「今度の休日に地域のお祭りに行かない？」とグループで誘った時に、メッセージを受け取った相手が交通手段を確認するために「何で来るの？」と返信すると、意味を勘違いして「何しに来るの？」とあたかも仲間外れにするような意味に捉えられたりする。また、「うちら友達じゃない」、「うちら友達じゃない？」この2つは文末に「？」があるかないかだけの違いにもかかわらず、意味が全く異なってくる。「？」をつけ忘れたために、「友達じゃない」と否定されたと取り違え、トラブルに発展するケースがある。



3 写真やスクリーンショットの拡散 「〇〇さんの写真が欲しい」と言われ、安易に写真を送信したところ、受け取った相手がさらに別の友人に送り、その後收拾がつかず個人情報やネット上に拡散される。LINE上のやり取りをスクリーンショットされ、その内容が元で、友人との信頼関係に溝が入り、仲間外れやいじめにあう。

4 LINEグループから外される LINEは閉ざされた空間のため、必ずしも正論が全て通るとは限りません。ある発言に対して正論を述べたところ、仲間の気分を害しグループから外されてしまう。またグループの意思決定に対しても、グループの一部の人だけの意見で事が進んでしまい、そのタイミングで LINEを閲覧できていなかった人はそもそも議論に参加できず、その決定に従わなければならない。

子どもをLINEトラブルから守るためには、大人がLINEの利便性と問題点を十分に理解した上で、大人の管理の元、使用させる必要があります。中学生は好奇心旺盛でありながらもまだまだ判断力に乏しく、我々大人が情報モラルについて力を入れ守っていかねばなりません。一旦起こったトラブルは、子どもたちの力だけで解決できないことも多くあると思います。ご家庭でもお子様と LINE の使い方についてお話いただき、どういう使い方をしているのか、ご家庭で決めたルールは守られているのか等、ご確認いただければと思います。